

授業科目名	高齢者福祉論	単位数	2単位
担当教員名	砂田 淳一郎	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	特定社会保険労務士・社会福祉士・産業カウンセラー・第1種衛生管理者として、医療・福祉現場での経験をもつ教員が高齢者福祉について指導する。		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
【授業のテーマ】 高齢者にまつわる諸問題を把握し、問題解決するために必要な高齢者保健福祉制度の意義と機能を理解する。			
【到達目標】 本科目においては、下記の4点を到達目標とする。 ①高齢者の生活実態を理解し、高齢者を取り巻く社会問題について理解する。 ②介護保険制度の仕組みと各種サービスについて理解する。 ④高齢者の暮らしを支える関係法規について理解する。 ⑤高齢者、家族を支える組織とその役割について理解する。			
授業の概要			
高齢者を取り巻く社会環境や介護保険制度をはじめとした法制度について理解することで、様々な困難な状況に置かれている高齢者に対しその人に適したサービスへと繋げることができる。さらに、現状のサービスでは不十分な部分を見つけ、ソーシャルアクションを起こしたりするのに役立つことが期待できる。また、高齢者を支援する様々な組織や専門職とそれらの役割を知ることで、高齢者や家族への適切な支援のあり方を考察する。			
授業計画			
第1回：高齢者の特性－社会的、身体的、精神的理解 第2回：少子高齢社会と高齢者－少子高齢社会と社会的問題、高齢者を取り巻く諸問題 第3回：高齢者保健福祉の発展－高齢者観の変遷、高齢者福祉の発展過程、高齢者福祉の理念 第4回：高齢者支援の関係法規①－高齢者保健福祉の法体系、老人福祉法 第5回：高齢者支援の関係法規②－高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー新法 第6回：高齢者支援の関係法規③－高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児介護休業法 第7回：介護保険制度の基本的枠組み①－制度の全体像、目的と理念 第8回：介護保険制度の基本的枠組み②－保険財政、保険者と被保険者 第9回：介護保険制度のしくみ①－要介護認定、保険給付、介護報酬 第10回：介護保険制度のしくみ②－地域支援事業、介護保険事業計画、質の確保のしくみ 第11回：介護保険サービスの体系①－専門職の役割と実際、居宅サービス 第12回：介護保険サービスの体系②－施設サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス 第13回：高齢者と家族を支援する組織と役割①－行政機関、サービス事業者、国保連 第14回：高齢者と家族を支援する組織と役割②－地域包括支援センター、シルバー人材センター 第15回：高齢者と家族等に対する支援の実際－地域包括ケアシステムにおける支援 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
最新社会福祉士養成講座2「高齢者福祉」中央法規出版 978-4-8058-8245-0			
参考書・参考資料等			
必要に応じて適宜紹介する。			
学生に対する評価			
レポート評価（50％）、科目修得試験（50％）			